

高次脳機能障害者の家族の思いと家族会の役割

日時▼平成30年12月15日「土」午後1時30分〜午後4時30分

場所▼京都市立医科大学 図書館ホール

入場無料 (事前申込不要) ※どなたでもご参加いただけますのでぜひお越し下さい。

※会場に駐車場はございません。
公共交通機関をご利用頂くか、近隣の有料駐車場をご利用ください。



講演 「子どもの高次脳機能障害 ～家族が想う支援のあり方～」

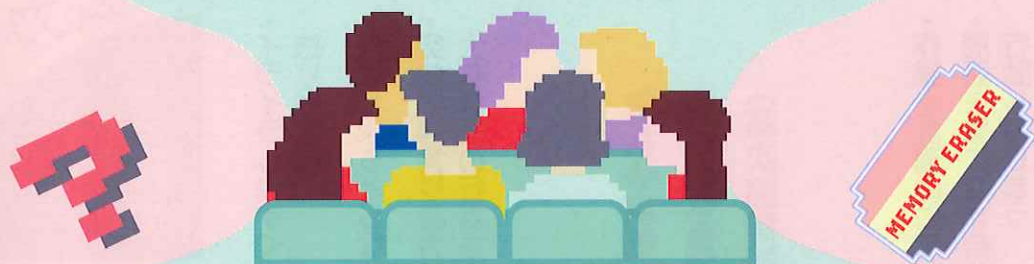
ハイリハキッズ (高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会)

Hi-Reha Junior

代表 中村 千穂様

プロフィール

高次脳機能障害の子どもを持つ母として、高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会「ハイリハキッズ」(2007年発足)の代表として、全国を飛び回り活動や支援について多数ご講演をされています。今回は、子どもの高次脳機能障害の家族が想う支援についてお話いただく予定にしています。



2部

当事者・家族による 経験談、合唱



お問い合わせ先

京都市リハビリテーション支援センター TEL: 075-251-5399

主催: 脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会京都実行委員会

後援: 一般社団法人 京都府医師会、公益社団法人 京都府看護協会、一般社団法人 京都府理学療法士会、
一般社団法人 京都府作業療法士会、一般社団法人 京都府言語聴覚士会、
京都精神保健福祉士協会、一般社団法人 京都府臨床心理士会、社団法人 京都社会福祉士会、
公益社団法人 京都府介護支援専門員会、社会福祉法人 京都府社会福祉協議会、
社会福祉法人 京都市社会福祉協議会、京都府教育委員会、京都弁護士会、京都医療ソーシャルワーカー協会

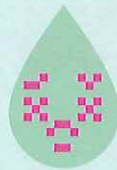
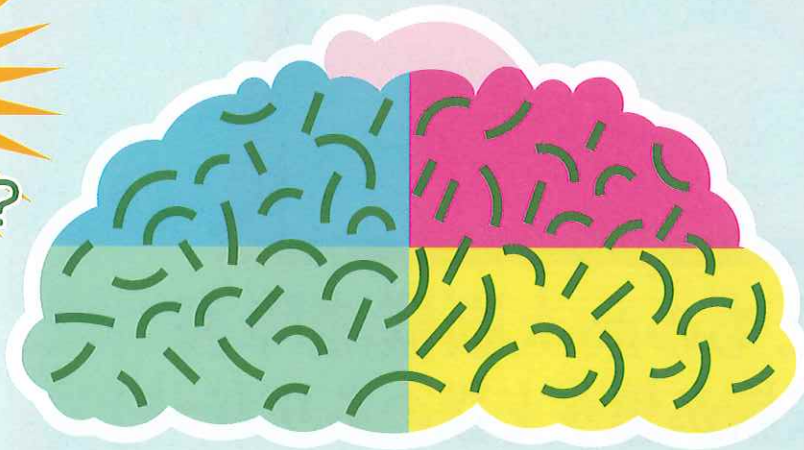
協力: 京都市、京都市



高次脳機能障害とは

病気や事故などが原因で脳が損傷し、言語・思考・記憶・行為・学習・注意などに、機能障害が起きた状態を高次脳機能障害といいます。

ひとりで悩まずに相談してみませんか？



遂行機能
障害

- ・作業を計画的にこなせない
- ・周囲を気にせず自分勝手に行動してしまう
- ・簡単な操作ができない
- ・物事の優先順位がつけられない

事故や病気のあと何か変わったと
感じたら見えにくい障害
(高次脳機能障害)かもしれません。

- ・イライラしやすく怒りやすい
- ・何もしようとしない
- ・突然の暴言や暴力、大声などの行為をする



感情障害
行動

- ・ぼんやりとしている
- ・気が散りやすい
- ・うっかりミスが多い
- ・すぐに飽きて集中力が続かない

- ・少し前、または直前のことを覚えていない
- ・すぐに忘れる
- ・何度も同じことを聞く

記憶
障害

注意
障害



思いもよらない事故や病気に遭遇して、様々な不安や悩み、戸惑い、ご苦労を抱えていませんか？

身体的なケガや病状は他人からみてもわかりますが、脳の傷は見えわかりません。

当事者本人も自分の症状に気づきにくく、前と変わりはないと思っていることも多いです。

性格が変わった、何が変わったかわからないけど色々うまくできなくなった、…など

外見上は問題ないように見えても、脳を損傷したことによって「高次脳機能障害」の症状があるかもしれません。

病院でのリハビリが終了し、退院して家庭での生活や仕事に復帰した後に、現れる変化に本人や家族、

周囲が戸惑い、誤解し、しばしば対人場面でトラブルになることもあります。

周りのサポートや対応を知ることにより、生活がしやすくなることがあります。

できること、できないことがわかり、就労につながることもあります。